

## 静岡市の活性化について

静岡県立静岡商業高等学校

教諭 林 繁久

昨年に引き続き、「駒形商店街の活性化」について研究することとした。最終的には高校生として商店街に活性化案を提案することをゴールとする。

4月は、昨年度の先輩たちの取組について、オリエンテーションした。その基礎知識をもとに駒形商店街を実際に歩き、見て聞いて感じたことをまとめていった。

5月は、個々にまとめたことを、プレゼンテーションソフトを活用し発表し、個々の感じたことを選択者全員で共有した。

6月は、商店街の皆さん、静清信用金庫の方々をお招きし、街を歩いて感じたことをグループに分かれ発表した。その後、静清信用金庫の職員の方の指導のもと、商店街の方々とともに、SWOT分析を実施し、商店街の課題解決に向けた話し合いを行い、分析結果をグループごとに発表した。

7月には、提案にSDGsの観点を取り入れるため、静清信用金庫の中野様より、SDGsの取組みの必要性について、①SDGsが設定された背景、②商店街とSDGsという内容で講演をいただいた。

前期のまとめとして、生徒たちが商店街の方々、信用金庫の方々と実施したSWOT分析とSDGsの観点を踏まえた商店街への提案を、県内商業科の先生方に発表しアドバイスをいただいた。

アドバイスをもとに、各グループの提案は、「駐輪問題解決シェアサイクリングを活用した取組」、「防災を意識した街づくり」、「花いっぱいプロジェクト」「静岡市・静岡商業・民間企業がコラボしたコミュニティカフェ」に決定した。



静清信用金庫によるSWOT分析研修とSDGs講座

これらの提案については、今年度は、静岡市議会の方々との意見交換会という形で実施した。市議会議員とディスカッションすることにより、生徒たちの考えも深まったと感じた。また、この提案を実施するにあたり、どのように進めていくべきかをアドバイスいただいた。



静岡市議会議員の方々との意見交換

また、今年度の新たな取組として、株式会社清水エスパルス、静岡県地震防災センターの協力がある。商店街の活性化にJリーグ社会連携「シャレン」と防災の観点を取り入れることとした。



株式会社清水エスパルスによる講座 静岡県地震防災センターにおけるHUG研修

12月は、清水エスパルスのホームゲームにおいて、高校生コラボデイとして就労体験を通して、地域ぐるみの取組を経験させていただいた。また、スタジアム内で行われているエコチャレンジについて、アンケートを実施した。エコチャレンジについての改善点を議論し、清水エスパルスへ新しい提案をした。

今回は、商店街での「ごちそうマート駒形」への出店が中止になったが、商店街の入口にある静岡県地震防災センターにおいて、12月27日に、清水エスパルスさんの協力のもと「こども防災教室」に講師として参加した。来年度は、このイベントを商店街と連携して実施することを提案することとした。

まとめとして、2月に実施される校内課題研究発表会にて、最終的な提案を実施し、後輩たちに継承することを考えている。



清水エスパルスと取り組んだこども防災教室